

Premium Textile Japan/JFW Japan Creation 開催概要

■ Premium Textile Japan 2014 Autumn/Winter

日時:2013年11月20日(水)~21日(木)(10:00-18:00)

会場:東京国際フォーラム ホール2(2,000㎡)

来場者:バイヤー及び招待者限定 [入場無料]



PTJは、付加価値の高い素材を作り出すテキスタイルメーカーと、本物のブランド・商品を市場に提供しているバイヤーとのビジネスマッチングの場として、今回で6回目を迎える。過去5回の好評な開催実績を背景に、今回は過去最高の応募申し込みがあった。また、昨年から会場を東京国際フォーラムに移した事で、来場者から「アクセスが便利になった」という声が多く聞かれ、前回のPTJ展ではS/S展として初めて5,000人を超える来場者を得た。特に、PTJの1番の特徴であるバイヤー比率の高さ(87%)が示す通り、PTJは、単なるお祭りではない“真剣なテキスタイル・ビジネス商談会”として定着し、業界にとって最も重要なイベントとなっている。



□ 出展状況:64社/90小間

* 海外3社(トルコ、台湾)/4小間

ゾーン	出展品目など	件数/小間数(8㎡換算)
A	短繊維(コットン、麻、ウール、複合)	26社/35小間
B	長繊維(化合繊、シルク、機能素材、複合)	18社/29.5小間
C	染色・後加工、プリント、刺繍・レース、皮革	9社/9.5小間
D	服飾資材、アクセサリ、ニット、擦糸	11社/16小間

□ ビジネスサポート・プログラム

○ ビジネスマッチング・プログラム

VIP バイヤーを組織し、会期中に参加企業とのマッチングを行う。PTJの要をなすプログラムとして、より内容の濃い商談ができる様に改善を重ねています。【マッチング】23社53件(予定)

【参加バイヤー:アパレル・小売メーカー】

- ★ 株式会社アバハウスインターナショナル(参加ブランド:qualite / 5351 Pour Les Femme)
- ★ 株式会社東京スタイル(SCENE DU EX / STYLE ME / 22 OCTOBRE)
- ★ 高島屋 クロスメディア事業部 カタログ販売「TAKASHIMAYA カタログ」
- ★ 株式会社イタリー(Pink Champagne)

【参加バイヤー:デザイナーメゾン】

- ★ A DEGREE FAHRENHEIT / 天津 憂(株式会社212)
- ★ DRESSCAMP / 岩谷 俊和(株式会社IWY)
- ★ Sise / 松井 征心(MARK STYLER 株式会社)
- ★ Yukiko Hanai / 花井 幸子(株式会社花井)



□ 注目の出展企業

鈴木晒整理(株) <初出展> (ブース No:A-1)

綿を中心に様々な染色整理・加工を施す企業。A/W 向けには、得意としているスエード起毛・ピーチ起毛と、オンリーワンである各種樹脂加工との組み合わせや、特殊製品染め用下晒のバリエーションを打ち出します。また、見た事がない新たな別珍やコーデロイも出品。今回の展示会では、生地が加工によってどの様に変化していくかが分かりやすく、目で見て触れる“加工工程変化系図”を展示。加工によって様々な展開が可能になる様子を披露します。

イチメン(株) <初出展> (ブース No:A-20)

原宿に拠点を置く老舗コンバーター。天然素材を中心に高感度な顧客に向けて多数の試織を行い、別注及び積極的なリスクを行う。現在はセレクト系や専門店が顧客の中心だが、広く国内生産に理解がある顧客へ販路を広げる為に PTJ へ初出展。出品内容はエジプト超長綿『GIZA88』の先染め(ストライプ、ハケメ、マイクロオックス等)素材や、コットンガーゼの無地・柄物、タイプライタークロス、綿/テンセル、極細コーデロイ、微起毛の綿ストレッチ素材などを中心に幅広く展開予定。

オガワテキスタイル(株) <初出展> (ブース No:A-5)

超おすすめ素材1:「ハイランドウール」深みある独特な MIX 感が特徴であるトップ糸をカラーバリエーション豊かに揃えたオリジナル素材。シルクウールのような光沢とバルキー性が高く、英国羊毛のような膨らみのある風合が特徴。無地や柄物、コート素材まで幅広く展開する主力商品の一つ。超おすすめ素材2:「ラムウール」産毛のような手触りとしなやかな風合い、艶やかな光沢が特徴。厳選された原料を贅沢に使用したシリーズ。その他にも、ウールを中心に数百品番(薄手~厚手、梳毛・紡毛等)をリスク販売するだけでなく、新素材開発に重点を置いた別注対応力、素材提案力にもご期待下さい。

篠原テキスタイル(株) (ブース No:A-13)

今回の一押しは、極限まで起毛したテンセルデニムや、機能素材を使ったウォームデニム、備後擦糸と共同開発した和紙デニムなど。また、同社の強みとしているテンセルデニム以外にも、綿デニム、ストレッチデニム、白生地など多品番のリスク商品も披露します。また、当社が定番的に使っているタテ糸を利用する事で、オリジナル素材が1反から生産可能。今回は、白を基調に特注什器やハイカウンターによってショップをイメージしたブースで出展します。

(株)播 (ブース No:A-23)

変わり織の播は、提案型企業をモットーとし、新素材開発に意欲を持って取り組んでいます。糸から染めて織り上げる独特な製法を利用し、後加工よりもより良い効果を発揮でき、消費者に喜んで頂ける生地を開発しています。冷感素材・温感保温素材などの機能糸織物、特殊織組織+原糸の改良による、形態安定、通気、ストレッチを追究した天然繊維 100%の先染め織物、他にも他産地とコラボした商品やストール等を多数展示しています。

クリエイティブ津島 (ブース No:A-14)

津島地区は尾州産地の中でも高密度、細番手梳毛糸使いを得意とするメーカーが多い。今回の打出しは Super100's の梳毛糸とベンベルグを組み合わせたコラボ素材や、撚り方向の異なる強撚糸を用いたクレープジョーゼット、紡毛糸を極限まで打ち込み、時間を掛けて縮絨・起毛を繰り返したヘビーメルトンを出品します。

(株)日本ホームспан (ブース No:A-7)

年間 650~700 点の新しいサンプルを作成し、日々商品開発に力を入れている。昔ながらの手織りの技術も残しながら、独自のノウハウで旧式シャトル織機を使用した生産体制を整えている。染め→撚糸→整経→織り等を一貫工程で行う設備があり、オリジナリティー溢れるその商品は海外のラグジュアリーブランドにも認められています。

(株)ピアチエーレ (ブース No:A-18)

コスト・品質共に吟味厳選された原糸をリスクし、あらゆるブランドに対応が可能。製造段階にて様々な創意工夫が施されているため、その完成度とリーズナブルな価格は他の追随を許しません。特にジャカードやカラミ織をメインとした当社開発の New サンプルは毎年 2 回打ち出され、国内外より高い評価を受けています。長繊維と短繊維の複合が織り成すピアチエーレの世界を是非ご覧下さい。

敦賀繊維(株) (ブース No:A-24)

年間約 800 柄を自社で企画製造するレース専門メーカー。今までは『軽さ』や『柔らかさ』を重視していましたが、今シーズンは何よりも“洋服になって価値のあるものを、どう平面で表現するか？”というところで『高級感』をテーマにしています。例えば、刺繍糸はウール・綿・レーヨンなどの単一に限定せず、細番手、太番手も含め複合で使用することで、高級感の表現を目指しています。また、素材はウールだけでなく、シルクやテセル混などに綿の刺繍を施し、オールシーズン使用可能な素材も考えております。

(株)羽田 (ブース No:B-16)

今回はシルクのような光沢・風合いを持つオリジナル素材「フラット 10」に、新しくふくらみ・ウォーム感をプラスした光沢薄地素材と、肉厚で重量感のある見た目に反して、着用すると超軽い軽量アウター素材「SMX」を提案致します。当社ブースにて、それらの製品の試着体験をお楽しみ下さい。

東レ(株) (ブース No: B-5)

今回のPTJでは2014年秋冬シーズンに向け、レディス・メンズ用の最新ファッション素材から最先端テクノロジーによる高機能素材、更には環境配慮型素材も加え、高品質合繊テキスタイルを提案します。

高島商事(株) (ブース No: B-12)

『PLANETA』®の販売元である合成皮革専門の生地卸売業者。約150品番1,200色の合成皮革を0.1m単位で販売し、クイック・デリバリーにも対応。合成皮革は経年劣化などが起こり易い素材だが、同社では一定の水準以上の品質を備えた商品を供給している。今回は中肉ソフトタイプの本皮調「ソレイユ」(ニットベース)、31色のカラー展開をしている「エトワール」、薄手・湿式の超ソフトタイプでシープ調の「フェアリーレザー」等を中心に出品。

齋栄織物(株) / SAIEI SILK (ブース No: B-14)

齋栄織物は、特に難しいとされている先染シルク・テキスタイルを得意とし、最近では、世界一薄い先染絹織物『妖精の羽』が注目を浴びている。また、欧米におけるフォーマルドレス用途のシルク・テキスタイルに関してはブランド化を推進。今回のPTJ展では、10月開催のIntertextile 上海に合わせて行われたテキスタイル・コンペで優秀賞を受賞した“塩縮加工のシルク”等を提案します。

同興商事(株) (ブース No: B-2)

シルク専門商社ならではの秋冬用のシルクブレンド素材を提案。ウールブレンドのファイン・シルク素材は繊細でふんわり柔らか。プリントベースとしても優しく上品な仕上がり。その他にもナチュラルな表情のカジュアル・シルクのツイードやガーゼニット、エレガントなベルベット・バリエーション、二重織や凹凸ジャカード、シンセティック・ミックスのテクノ表情や風合い、スポーティなストレッチ・シルク等、新しいテイストと先染やプリントも加えて、更に新しいシルク素材の魅力をアピールします。

日出染業(株) (ブース No: C-10)

綿を中心に様々な染色とプリント・後加工を施し、色鮮やかなファブリックを生産。全ての工程を自社工場にて一貫生産しています。私たちが誇る「染」技術、時代をリードする「彩」の感性、長年培った「技」の信頼。3つが解け合って新たな「美」を生み出します。

双葉レース(株) (ブース No: C-1)

ウール糸を編み込んだレースやメッシュを、ウール主体の染工所で染色加工。また、ウール以外の素材も起毛することで柔らかく暖かみのあるレースに仕上げている。幾何柄・花柄、肉薄～肉厚までバリエーション豊かに出品します。

衞紀南莫大小工場 (ブース No: D-1)

シーズン・トレンドを踏まえたジャージー素材の開発を行い、最終製品がイメージ出来る「Made in Japan」

に拘った物作りを行っています。天然繊維を中心に原材料から拘り抜いたオリジナル糸を開発しリスクする事により、国内外の有カパレルのニーズに対応しています。

宮田毛織工業(株) (ブース No:D-9)

今回は 8 ゲージから 40 ゲージまでの多種多様な機種を背景に、ウール・綿・合繊などを扱い、他社にはない幅広い商品構成で提案します。ウール100%、ウール混などのTOP糸の展開、ニットメルトンが無地や先染ジャカードでの展開、シルクやカシミアの高級素材での展開など、2014 秋冬の婦人・紳士ニットアウター素材を提案致します。

高野ロパイルファブリック (ブース No:D-5)

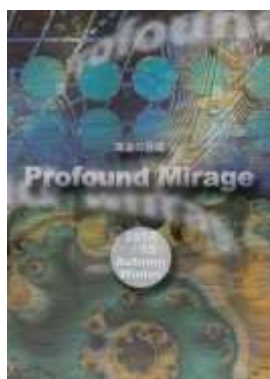
「KOYAGUCHI PILE」は、基布にパイル糸が織・編み込まれた 3 次元構造の特殊な素材です。毛足の長さや多種・多様な風合い、デザインを付加することにより多彩なジャンルの製品に対応します。構造上、毛抜けが少なく、ピリングが起りにくく、暖かさ、柔らかさ、独特の風合いを持つラグジュアリー素材として世界的に認められています。今回は、産地精鋭 5 社(青野パイル(株)・オーヤパイル(株)・妙中パイル織物(株)・中野メリヤス工業(株)・野上織物(株))が出展します。

(株)SHINDO (ブース No:D-4)

プルミールビジョン・ブリュエルの副資材展「モーダモン」に出品した新商品や、人気の高かった商品及びカラーの最新情報を展示します。また、4 万 5 千点に及ぶ S.I.C.定番商品の中からトレンドテーマに沿った商品やカラーをピックアップして提案するだけでなく、メーカーならではの別注参考商品や特殊加工技術を使った商品など、グローバルに展開する“SHINDO”の総合力を紹介します。

■ **JFW Textile View** (2014-15 Autumn / Winter Trends)

JFW TEX. Divが毎シーズン発信するテキスタイルトレンド。欧米からのトレンド情報に流されること無く、四季の移ろいによる感性と日本語を大事にした JFW Textile View の‘14-15A/W 向けトレンドの概観は【有言実行する器】。(* 詳しくは「JFW Textile View 2014-15 A/W」参照)



深遠の目眩(めまい)



輪舞(-ロンド-)



曲者(くせもの)の意地



永遠(-とわ-)のラブ・フレーズ

■ **トレンド・コーナー**(東京国際フォーラム B1F ロビーギャラリー)

JFW Textile View2014-15A/W **トレンド・ディレクション**に基づき、企画開発したPTJ、JFW-JC出展者のテキスタイルを編集・展示した**トレンド・コーナー**は、毎回趣向を凝らした施工が話題となる注目のコーナー。今回も Intertextile 上海の**トレンド・コーナー**の施工デザインを、東京用にアレンジして設置。

《**展示点数**》 702点

- ・深遠の眩暈(めまい) 184点
- ・輪舞(ロンド) 181点
- ・曲者(くせもの)の意地 173点
- ・永遠(とわ)のラブ・フレーズ 164点



■ **インデックス・コーナー**(PTJ、JFW-JC 会場入口)

PTJ/JFW-JC 出展各社の**新商品・イチ押し素材**を展示する**インデックス・コーナー**は、各会場入口に配置し、来場バイヤーを出展小間へ誘導します。

《PTJインデックス展示点数》 186点 《JFW-JCインデックス展示点数》 184点



■ **JFW JAPAN CREATION 2014**

日時:2013年11月20日(水)~21日(木)(10:00-18:00)

会場:東京国際フォーラム ホール1(3,000㎡)

来場者:バイヤー及び招待者、業界関係者、学生

[入場料] 当日 2,000円、事前登録・学生割引 1,000円

JFW
JAPAN
CREATION
2014

JFW Japan Creation(JFW-JC)は、全国の繊維産地・企業が一堂に集結する国内唯一の繊維総合見本市として、商談の契機とするだけでなく、出展者の技術・商品を新規顧客にプロモーションし、バイヤーとの生の意見交換から商品開発の方向を定め、オンリーワンのものづくりを進めていく場でもある。

昨年より東京国際フォーラムに会場を移し、更に、認知度の高まったPTJとの併催により相乗効果がupした事で、今回の出展申込みは過去に無いスピードで小間が埋まり、多くのウェイトिंग出展者を抱える事となった。



□ 出展エントリー状況：261社/225小間

ゾーン	申込み件数	総参加企業・団体数	小間数 (6 m ²)
テキスタイル関連	59	172	141.5
内)海外出展者*	11	33	37
繊維関連・製品	8	21	19.5
毛皮・皮革	5	42	44
服飾資材、刺繍・レース	16	26	20
合計	88件	261社	225小間

* 海外出展者:韓国 1 件 16 小間、台湾 3 件 10 小間、香港 2 件 6 小間、タイ 5 件 5 小間

■ 関連プログラム

● Forum(セミナー)

第一線で活躍する講師陣が日本のテキスタイルやファッション、マーケットの最新情報やテーマに沿った解説を語る“Forum”。今回も旬な話題をテーマに、計 4 本を実施予定。

○ 11月20日(水) 11:00～ 「メイド・イン・ジャパンへのこだわり」

第一織物は、ヨットセール・クロスを主体に超高密度織物を研究・開発・製造し、1980 年代にアパレル向けに着手しました。「ほかでは創れない、真似できない」技術力で、ジャパン・クオリティーを世界に発信しています。ラグジュアリーブランドも認めるこだわりの商品開発と今後の戦略を語ります。

講師:吉岡 隆治(第一織物㈱ 代表取締役社長)

《略歴》 父親から社長を引き継いだのが31歳のとき。それまでの産業資材用の賃加工から自立化し、スポーツウエアやファッション向けに自販体制を。グローバル化も本格化させ、いまでは 80%が海外向け。

他にない超高密度技術がかもすファッション性と機能性は、世界各国のデザイナーやメーカーから高い評価を得ている。現在、年 50 回もの海外出張を繰り返している。



○ 11月20日(水) 14:30～ 「モードとテキスタイル」

“FINAL HOME” とは、もし災害などで家を失ったら、どのような衣服の提案ができるのか、そして、その家にかわる服が平和なときには、どんな姿をしているのか…。こうした考えから生まれました。人を守る服というコンセプトにこだわり、非常時には機能性、平時には楽しめる服を提案し続けたい。そして、ファッションはモノづくりの最初のところからパフォーマンスが始まっています。

講師:津村 耕佑(ファッションデザイナー)

《略歴》 1959 年 埼玉生まれ。82 年 第 52 回装苑賞受賞。83 年 三宅デザイン事務所に入社。

92 年 第 21 回現代日本美術展準大賞受賞 94 年 FINAL HOME を設立。パリコレクションと東京コレクションに初参加。同年、第 12 回毎日ファッション大賞新人賞・資生堂奨励賞受賞。2001 年 第 3 回織部賞受賞。08 年より武蔵野美術大学空間演出デザイン学科教授。



○ 11月21日(木) 11:00～ 「幻のコットン、シーアイランドコットン」

かつて幻のコットンと呼ばれたほどの希少価値を持つ西印度諸島海島綿(シーアイランドコットン)。謎多きこの綿花の誕生から、イギリスによる育成を経て現在のカリブ各国による栽培に至るまでの道のりと、その優れた特徴、日本が中心として行ってきたブランディングと品質向上の取り組みを紹介しします。

講師:伊藤 薫 (シーアイランドクラブ(株))

《略歴》協同組合西印度諸島海島綿協会にて原料開発事業を担当。その後はシーアイランドクラブ(株)において糸の販売、及び原料調達に従事。毎年カリブの畑を訪問し原綿を確保するとともに、現地の農家、農務省に対して質の更なる向上を説き、シーアイランドコットンの最高級綿としての地位を盤石にすることを使命とする。



○ 11月21日(木)14:30～ 「価値あるモノづくりを求めて」

都内最大級の紳士服催事『銀座の男』市に向けて、世界中からハイクオリティな生地を調達しています。国内外の生地屋とネットワークを築き、独自の仕入ルートも開拓。これによって希少価値がある生地を低コストで仕入れてます。また、優れた技術を持つ仕立て職人や縫製工場を探すのも私の仕事です。生地から縫製まで一貫して携わることで、高品質な商品を適正な価格で販売することが可能となりました。その取り組みを紹介しします。

講師:宮崎 俊一(株)松屋銀座店 バイヤー(メンズ・スーツ担当)

《略歴》北海道生まれ。1989年、株式会社松屋入社。食料品売り場担当後、紳士雑貨をはじめメンズ・カジュアル・トラッド、紳士スーツなど紳士部門のバイヤーとして20年のキャリア。日本だけでなくヨーロッパも飛び回って産地の開拓に注力。2002年から年2回の松屋銀座の紳士服催事『銀座の男』市では独自のMDによるスーツを提案、つねに人気の商品となっている。



● 産学コラボ 第7回『FORM PRESENTATION』(東京国際フォーラム ロビーギャラリー)

—Textile Theme:「ウールの進化・2」、—Fashion Theme:“Dramatic Biz”

次世代の人材育成を目的とした産学コラボレーションの今年の題材は“ウール”。日本を代表する毛織物企業“ニッケ”のご協力を得て、ウールの新しい価値創造を追求しました。応募作品の中からデザイン審査で選ばれた8グループの学生が、贅沢で官能的なカラーテーマとウールのスタンダードな魅力を連動させた“色彩と素材”の妙味が放つドラマティックでコンテンポラリーなオフィシャルスタイルを表現し、作品を展示発表しします。

○主催:繊維ファッション産学協議会 ○特別協賛:一般社団法人日本ファッション・ウィーク推進機構

○協賛:UA ゼンセン ○協力:ニッケ(日本毛織株式会社)

JFW-JC2013AW 第6回「FORM PRESENTATION」展示風景



● **PIGGY' S SPECIAL ピッグスキン・ファッションショー**（主催：東京都、東京製革業産地振興協議会）
毎回、東京を代表する若手デザイナーを起用し注目を集める PIGGY' S SPECIAL。東京国際フォーラム D5 ホールにショー専用会場を設け、プロ部門/学生部門、各 2 回（計 4 回）のランウェイを実施。

《PIGGY' S SPECIAL 2014 参加メゾン/デザイナー》

□ Yasutoshi Ezumi / 江角泰俊

《略歴》 ロンドン セントラルマーティンズ美術学校ファッション & テキスタイル科卒業。アレキサンダーマックイーン等コレクションブランドで経験を積む。2008SS/AW アクアスキュータムにてニットウェアデザイナーを務める。

帰国後 2010AW より Yasutoshi Ezumi を立ち上げる。JFW 主催の第 3 回「SHINMAI Creator's Project」に選出される。2013SS ミラノコレクションにて ANTEPRIMA+YE ライン発表。

TOKYO LEATHER
PIGSKIN 2014



□ et momonakia (エモモナキア) / 城賀直人、玉置博人

城賀直人：マロニエファッション専門学校卒業後、アパレル勤務を経て渡仏。フランス国立専門学校 LISSA を首席で卒業。その後 LANVIN にてアルベールバスに師事。JOSEPH の布帛デザイン担当後、帰国。

玉置博人：立命館大学卒業後、大阪バンタンキャリアスクール終了、渡仏。フランス専門学校ペルソー卒業。BALENCIAGA 等でアシスタントを経験後、帰国。

* 08/09AW シーズンより et momonakia をスタート。



《PIGGY' S SPECIAL 2014 参加校：12校》

織田ファッション専門学校、宮川文化服装専門学校、
専門学校ファッションカレッジ桜丘、文化服装学院、
東京ファッション専門学校、江東服飾高等専修学校、
華服飾専門学校、田中千代ファッションカレッジ、
大森家政専門学校、専門学校青山ファッションカレッジ、
ドレスメーカー学院、二葉ファッションアカデミー



【PIGGY' S SPECIAL SCHEDULE】

11 月 20 日（水） 13:00-、15:00- Yasutoshi Ezumi、et momonakia

11 月 21 日（木） 13:00-、15:00- 東京都各種学校、専修学校の学生作品

□ 初出展企業

インビスタ ジャパン(株) <初出展> (ブース No: J-33)

今回の出展では、インビスタの最新製品であるクールマックス®エアール・ファブリックと、サーモライト®プロを紹介し、クールマックス®エアール・ファブリックは、優れた吸水性、通気性、速乾性を併せ持つ素材。快適性を最大限に引き出し、高いパフォーマンスを発揮するために設計されたプロペラ形状断面の高機能繊維(特許取得済み)を使用。サーモライト®プロ中綿は、革新的なファイバー技術で作られた先進的な軽量保温素材。回復性・通気性に優れ、暖かさを長く保ち、快適性を最大限に引き出します。

*クールマックス®(COOLMAX®)およびサーモライト®(THERMOLITE®)はインビスタ社の商標です。

東レ・デュポン(株) <初出展> (ブース No: J-46)

今回は“高強力・高弾性”が特徴のスーパー繊維『ケブラー』の、衣料用テキスタイル分野における知名度 up を目的に出展。ケブラーを使ったデニムやリップストップ、ケブラー100%織物に樹脂をコーティングした合成皮革などを出品。ケブラーを使う事で引裂き強度が高まり、薄地軽量化できる特徴を活かしたライダールームデニムやアウトドア・ウェア向け、更に、バッグ等の雑貨用途を狙う。

協西印度海島綿協会 <初出展> (ブース No: J-23)

シーアイランドコットン(海島綿)はカリブ海のみで産出され、傑出した品質に希少価値が加わり、宝石のように高く評価されています。新たに開発され、まだ店頭でも見ることのできない海島綿及び LUXSIC(海島綿のDNAを継承する新種の超長綿)など、これまで協会メンバーが世に送り出してきた素材を一堂に集めて展示します。尚、シーアイランドクラブ(株)の伊藤薫氏にはJFW-JC Forumで『幻のコットン、シーアイランドコットン』(21日 11:00-)を講演して頂きます。

新内外綿(株) <初出展> (ブース No: J-43)

今回は、同社の開発糸を使用したオリジナル生地を多数出品。特に“ナチュラル”をテーマにした新商品として、テンセルとオーガニック・コットンをベースに、天然のフラワーやフルーツから抽出した色素を使用した『ボタニカル・ガイド』のメランジ素材を重点的に提案。その他にも、インディゴ調のブルー表現を追求した『ブルー・壱糸』、人気が高まってきた後染め用ファンシーヤーン『びっくりやん』など、個性的な意匠糸を多彩に提案する。

株式会社トコヨダ <初出展> (ブース No: J-25)

創業以来38年間、墨田区にて丸編みジャージーの製造販売を行っています。今回は世界の一流ブランドが認めるトコヨダのカシミア、アルパカ、コットン、シルク、リネン(カットソー、Tシャツ)を紹介します。当社は、常に高い技術力で最新の生地開発に取り組んでいるだけでなく、染色技術にも力を入れており、ピーカー試験室を自社に用意し色出しなど迅速に対応。加えてウールの防縮加工(当社オリジナルの加工でウール本来の風合いを残す)や、糸の強撚加工、シルクのセリシン定着加工なども行う。ロットの多少に関わら

ず声をお掛けください。

サン・ルック(株) <初出展> (ブース No: J-30)

スパンゲル、リボン&ファンシーヤーン刺繍、カラーチェンジ刺繍、エンブroidアリーレース、プリーツ、ニードルパンチ、ベルベットレース等、独創的なオリジナルパーツと加工技術を生かした商品開発が当社のモノづくりの出発点です。素材開発からサンプル作成、商品化に至るまで妥協を許さない徹底したオリジナル主義が特徴の会社です。

blue farm textile limited/Hong Kong <初出展> (ブース No: J-92)

Blue Farm はインディゴ・カンパニーで、従来のデニムとは別にインディゴを違う位置づけのファッション・セグメントにとらえたコレクションを展開しています。この度の JFW-JC では、Blue Farm 素材をベストな形で紹介すべく、約 120 点あまりのガーメントを紹介します。主な出品素材は以下の通り。

- －MEN'S DENIM (11-14oz ハードデニム・多色展開・セルビッジ)
- －LADIES DENIM (7-11oz ストレッチデニム・多色展開)
- －WOVEN KNIT DENIM (ニットデニム・コーティング)
- －DRAPE ESSENTIAL (シルク・リネン・テンセル・コットン レディースウエア向け)

その他に INDIGO を使った各シャツシリーズ (DENIM SHIRT、INDIGO OXFORD SHIRTS、CASUAL INDIGO SHIRTS、INDIGO TAILORED SHIRTS)

(財)いわて産業振興センター <初出展> (ブース No: J-08)

今回は選りすぐりの縫製企業8社が保有する高い技術力と品質をPRするため、「岩手県共同出展ブース」として出展します。国内生産と高品質に拘った「メイド・イン・ジャパン」のものづくりを目指すメーカーにとって、我々は最良のパートナー集団と成り得ると自負しております。

(株)三和ドレス(Lady's アンサンブルスーツ、ドレス)

(株)二戸サントップ(Men's 重衣料)

(株)二戸ファッションセンター(Lady's 重衣料)

岩手モリヤ(株)(Lady's ジャケット、コート、スーツ)

(株)東京ドレス研究所(Lady's ワンピース、ブラウス、スカート)

(株)プランタンいずみ(ベビー、子供服)

(株)スキルギャランティ(Men's、Lady's ボトム)

(株)柴宿ファッション(Lady's コート、ドレス、ジャケット、ブラウス、スカート)

□ 注目の出展企業

ザ・ウールマーク・カンパニー (ブース No: J-L1)

『THE WOOL LAB autumn winter '14-15』を中心に、当社がグローバルに展開する様々なプロジェクトを紹介いたします。『THE WOOL LAB』は、日本を含む世界の有力な紡績・テキスタイルメーカーから集められ

た最新のウール、ウールブレンド素材で構成されています。来秋冬の「ウールトレンド」を7つのテーマで示しながら、すぐにアクセス可能なウール素材の「リソースガイド」として自由に閲覧出来る、新しいタイプの情報サービスです。今回はニッケ、産学コラボ・コーナーに隣接したロビーギャラリーに特設ブースで出展します。

ニッケ（日本毛織株式会社）（ブース No: J-L2）

ウールの一貫生産メーカーとして技術力、企画開発力に裏付けられた高品質、高付加価値、高機能素材をご紹介します。ニッケの頂上商品群「GOLDEN MAF」「LEZEL」「NIKKE TASMANIA X」の他、世界のトップメゾンにも採用いただいている究極素材コレクション「NIKKE PREMIERE VISION Collection」、また今回は梳毛紡績技術による新開発原糸「ニッケ Nagaragawa」による新素材も加えて「ウールの魅力」、「テキスタイルの真髄」を余すことなく表現致します。

Bishu Style（ブース No: J-27）

国内ウール生産の8割を誇る尾州産地。今回は産地内でも拘りのモノづくりで定評のある8社・グループが参加し、「自問品質」をテーマに掲げ、“セットアップ感覚”をキーワードに、上質素材と軽さに遊び心をプラスした新しさで、実ビジネスに挑みます。旭化成せんいのベンベルグとのコラボレーション“Wool Meets Bemberg”も5年目を迎え、新しさのみならずウールの上質さに軽さを加え、今のムードを感じさせる素材に仕上げました。JFW-JC 展示のために開発した新素材にご注目下さい。

《参加企業》

- ・(株)加藤テキスタイル事務所 ・五大(株) ・(株)ソトー
- ・Team GIFU (株)イワゼン、岩田健毛織(株)、カワボウテキスタイル(株)、ファインテキスタイル(株)
- ・中伝毛織(株) ・早善織物(株) ・御幸毛織(株)
- ・MEN'S BISHU (オパレックス(株)、時田毛織(株)、三羊毛織(株))

株島精機（ブース No: J-06）

今回はホールガーメント横編機と 3D デザインシステムを持ち込んで実演を行うほか、ホールガーメントのニットサンプルを展示します。「MACH2X123 8L」は超ファインゲージで高品質なホールガーメントニットウェアの生産を実現。糸にやさしくゲージレンジも広がり、ホールガーメント編成以外に、前立てやポケットなどのインテグラル編成も可能。「SDS-ONE APEX3」は、企画・デザインから生産・販売までモノづくり全般をサポートする“All in One”の 3D デザインシステム。企画プロセスを改善し、サンプリングのコスト・時間・材料の無駄を省くバーチャルサンプルを提案します。

ケイター・テクシーノ(株)（ブース No: J-81 日本絹人織織物工業会 福井県織物工業組合内）

伝統の糸加工技術を活用したメンズ・ファブリックの提案。企画名は「ネオ・アーバン・レミックス」。WEATHER(気候)、TRAVEL(旅行)、JYM(軽快)をコンセプトに軽量・保温・撥水・防シワ・コンパクト等の機能を付与しています。コンセプト毎にコート・ジャケット・パンツの代表的なガーメントを提案し、ファブ

リックの拘りを来場者に実感して貰います。

第一織物(株) (ブース No: J-81 日本絹人織織物工業会 福井県織物工業組合内)

同社の超高密度テキスタイル・ブランド『DICROS』®を再構築。その特徴や風合い、機能性ごとに 10 に分類し、それぞれにキャッチフレーズをつけて披露。強い撥水性を持つ『SORELA II (ソレラ II)』、高い耐水性と柔らかいふくらみを持つ『SORELA IV (ソレラ IV)』等、消費者目線でも素材の特徴が分かりやすい様にしました。尚、同社の吉岡社長には JC Forum で『メイド・イン・ジャパンのこだわり』(20 日 11:00-)を講演して頂きます。

互邦通商(株) (ブース No: J-20)

コード、リボン加工、ジャガード刺繍といった国内での生産技術に加え、ヨーロッパからの輸入素材にも付加価値を付け商品提案を行っています。また、インドでの高品質な手刺繍、ビーズ加工での商品提案も対応。婦人アパレル、ブライダル、服飾雑貨、インテリア等、幅広いニーズに対応できる商品開発を行っています。

神戸レザークロス(株) (ブース No: J-48)

当社は、靴・バッグ・帽子・アクセサリーなどの服飾雑貨や、インテリア雑貨へ向けて生地・合皮を中心に扱っており、オリジナル商品の企画・販売を行なっています。その他、刺繍・プリント・箔加工・ブリーツ加工・レーザーカット・撥水加工など後加工も幅広く取り扱っています。お客様に小さく(ロット)、速く(納期)、細かく(単価管理)、早く(新商品)、安心・安全を提供できる企業です。

(株)今井機業場 (ブース No: J-44 富山県繊維協会内)

経編ニット(トリコット)生地の製造において創業 60 年以上に渡るノウハウを用いてインナー・スポーツ・アウターなど様々な分野での商品開発を行っている。緯糸挿入機(カールマイヤー)においては日本に導入されている 6 割を所有しており、生産シェアは日本一。今回は緯糸挿入で生産した生地の新たな可能性を提案します。

GLORY(有) (ブース No: J-07)

当社が得意とするニット・カットソーの最新提案サンプルに加えて、オリジナルのブレードを提案します。また 2012SS からはレースを中心とした布帛・布帛仕立てのカットソーを提案し、マーケットで高い評価を得ています。ビーズ、レース、布帛などのコンビネーションを駆使した差別化された提案資料は、アトリエでデザイナーがオリジナルで考案しています。